

11. ダイオキシン類

11. ダイオキシン類

概 況

ダイオキシン類による環境汚染の防止及びその除去等を図るため、「ダイオキシン類対策特別措置法」が平成11年7月に制定、平成12年1月に施行された。

この法律は、ダイオキシン類に関する施策の基本となる基準、排出ガス及び排出水に関する規制、廃棄物処理に関する規制、汚染状況の調査等を定めている。この法律により、ダイオキシン類を発生し大気中に排出する施設やダイオキシン類を含む汚水又は廃液を排出する施設として特定施設が定められ、特定施設を設置している者又は設置しようとしている者は届出が義務づけられた。

平成23年3月31日現在の届出数は次のとおりであり、内容については、表-44のとおりである。

大気関係特定施設 12事業所 16施設
 水質関係特定施設 7 事業所 14施設

表 - 44 ダイオキシン類対策特別措置法対象施設の届出状況

平成23年3月31日現在

施 設 名		事業所数	施設数
大 気	5. 廃棄物焼却炉		16
	計	12	16
水 質	15. 廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設等		11
	18. 水質基準対象施設からの汚水等を処理する下水道終末処理施設		3
	計	7	14

(愛知県環境部資料)

(1) 大気・土壌環境調査

平成22年度は、市内のダイオキシン類による環境汚染の状況を把握するため、大気環境及び土壌環境におけるダイオキシン類調査を実施した。一宮市ではこの調査を5年に1度実施している。

① 大気環境調査

市内2地点（一宮市役所一宮庁舎、今伊勢西小学校）で年2回調査を実施した。

表—45は大気中のダイオキシン類の調査結果である。これによると大気中のダイオキシン類の年平均値は、一宮庁舎が 0.044pg-TEQ/m^3 、今伊勢西小学校が 0.061pg-TEQ/m^3 であり、環境基準（ 0.6pg-TEQ/m^3 ：年平均値）に適合した。

② 土壌環境調査

市内2地点（常念公園、今伊勢西小学校）で年1回調査を実施した。

表—46は土壌中のダイオキシン類の調査結果である。

これによると土壌中のダイオキシン類は、常念公園が 0.0026pg-TEQ/g 、今伊勢西小学校が 0.29pg-TEQ/g であり、環境基準（ $1,000\text{pg-TEQ/g}$ ）に適合した。

(2) 水環境調査

表—47は、水環境（公共用水域・水質）におけるダイオキシン類調査結果である。

これによると日光川北今橋でダイオキシン類の年平均値は、 1.2pg-TEQ/l であり、環境基準（ 1pg-TEQ/l ：年平均値）不適合でした。

表—48は、水環境（公共用水域・底質）におけるダイオキシン類調査結果である。

これによると日光川北今橋でダイオキシン類は、 1.2pg-TEQ/g であり、環境基準（ 150pg-TEQ/g ）に適合した。

表 - 45 大気環境におけるダイオキシン類調査結果

調査地点	調査結果 (pg-TEQ/m ³)		調査年月日	環境基準 (pg-TEQ/m ³)
一宮市役所一宮庁舎	0.061	0.10	平成22年10月7日～8日	0.6
		0.021	平成23年2月1日～2日	
今伊勢西小学校	0.044	0.056	平成22年10月7日～8日	
		0.031	平成23年2月1日～2日	

※ 調査結果は年平均値に併せて右に各測定結果を記載した。

表 - 46 土壌環境におけるダイオキシン類調査結果

調査地点	調査結果 (pg-TEQ/g)	調査年月日	環境基準 (pg-TEQ/g)
常念公園	0.0026	平成22年10月7日	1,000
今伊勢西小学校	0.29	平成22年10月7日	

表 - 47 水環境（公共用水域・水質）におけるダイオキシン類調査結果

調査地点		調査結果 (pg-TEQ/l)	調査年月日	環境基準 (pg-TEQ/l)
河川名	地点名			
日光川	北今橋	1.2	2.2	1
			0.18	

※ 調査結果は年平均値に併せて右に各測定結果を記載した。

(愛知県環境部資料)

表 - 48 水環境（公共用水域・底質）におけるダイオキシン類調査結果

調査地点		調査結果 (pg-TEQ/g)	調査年月日	環境基準 (pg-TEQ/g)
河川名	地点名			
日光川	北今橋	1.2	平成22年7月23日	150

(愛知県環境部資料)